

# 精神科

## 【当科でローテーションしたら】

### 精神科研修1ヶ月の例

1. せん妄の診断・治療・対応が習得できる  
週3枠程度の新患の予診を担当するため、ほぼ必ずせん妄の症例に出会うことができます。上級医とともに診察に当たり、正しい診断方法や考え方を学び、フォローアップを行いながら対応方法を習得することができます（10例以上）。
2. 認知症のスクリーニング検査を習得できる  
超高齢社会となった日本では多くの診療科で高齢患者を診察することになります。改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）を実際に繰り返し施行することで認知症のスクリーニング検査を習得でき、頭部MRIや脳血流SPECTとの対応についても上級医と一緒に検討してもらいます（5例程度）。
3. うつ病・不安症患者への対応を学ぶことができる  
どの診療科でも遭遇する抑うつや不安症状の聴取法、対応方法、基本的な薬物治療を学ぶことができます。（3例程度）
4. 精神科救急患者への対応を学ぶことができる  
救急科を含む身体科との連携の中で、希死念慮が高まって自殺企図した身体合併症患者などに対する対応方法を学ぶことができます（3例程度）。
5. 思春期の患者への対応を学ぶことができる  
患者の年齢層は小児科や産科に次いで低く、思春期の神経発達症や食行動症／摂食症も多く受診します。彼らへの接し方について実践的に学ぶことができます（3例程度）。
6. 睡眠・覚醒障害の診察や検査、診断を学ぶことができる  
当科には県内外から過眠症をはじめとする睡眠・覚醒障害患者が紹介されてきます。積極的に検査・治療入院も行っており、導入から診断まで学ぶことができます（3例程度）。
7. 精神保健福祉法の理解を深めることができる  
用語を眺めるだけではわかりにくい、精神保健福祉法に基づく入院形態（任意入院・医療保護入院・措置入院）について実際の患者を対応する中で理解を深めることができます。
8. 全人的医療を体験できる  
患者の価値観や生活環境などを総合的に勘案し、薬物療法や心理療法に加えて、多職種による心理的サポート、経済面も含めた社会的サポートなど全人的な医療によって疾患を克服していく様子を体験することができます。

## 【専門研修に向けて(希望者には! )】

### 1. 脳波判読のトレーニング

教科書だけではわかりにくい脳波について、実際の検査結果を多く判読するトレーニングを積むことで集中して勉強できます。

### 2. 主治医としての治験経験

2～3ヶ月間ローテーションする場合は、典型的なうつ病患者を主治医として担当することもできます。もちろん上級医が丁寧にサポートします。

## 【研修目標と評価】

### 一般目標

日常診療で頻繁にする精神科疾患をもつ患者に適切に対応ができるように、外来診療と入院患者の受け持ちによって基本的な臨床能力(態度, 技能, 知識)を身につける。

以下, \*は1ヶ月研修における目標とチェックリスト。

### 行動目標

1. 面接と身体的検索から患者の感情面の評価, 行動の評価, ストレスに関連する問題の評価ができる。\*
2. 定型的な症状を呈する精神疾患の診断ができる。\*
3. 過換気症候群を鑑別でき治療できる。\*
4. 幻覚や妄想などの異常体験を把握できる。\*
5. 抑うつ症状や不安症状を把握できる。
6. 自殺の危険を察知できる。
7. 意識障害, 痙攣発作を鑑別できる。
8. 精神科専門医に相談すべきかトリアージできる。\*

## チェックリスト《5段階評価》

### 知識:

1. 患者を取り巻く心理・社会的背景を聴取できる。\*
2. 精神科の医療保健制度が理解できる。\*
3. 向精神薬(抗精神病薬, 抗うつ薬, 抗不安薬, 睡眠薬, 抗てんかん薬など)が理解できる。

### 技能:

1. 認知症の評価ができる。\*
2. 脳波を評価できる。
3. インターネットを使用し文献検索ができる。\*
4. 症例提示と討論ができる。

詳しい検査をオーダーする能力：

1. 脳波（睡眠脳波検査を含む）
2. 脳 CT 検査, 脳 MRI 検査\*
3. 脳血流 SPECT 検査
4. 髄液検査

### 【方略】研修方法

研修は基本的に指導医と 1 対 1 の形で行うが、状況や症例に応じて他の指導医、後期研修医などと共に診療を行う。レポートの対象症例のみならず、精神疾患を幅広く経験する。新患の予診は週 3 回程度の枠で行い、患者の初診時における対応のトレーニングを積む。

### 指導医

三島和夫, 竹島正浩, 今西彩, 伊藤結生, 吉沢和久, 馬越秋瀬, 小笠原正弥

### 精神科ホームページ

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~seisin/>

<https://www.hos.akita-u.ac.jp/departmentlist/psychiatry.html>

精神科研修についてのご質問は、

今西 彩

e-mail : [ima24@med.akita-u.ac.jp](mailto:ima24@med.akita-u.ac.jp)

TEL : 018-884-6122, FAX : 018-884-6445

### 週間スケジュール (2024 年 6 月現在)

	月	火	水	木	金
8 : 30	回診	修正型電気	チーム回診	回診	修正型電気
9 : 00		けいれん療法			けいれん療法
9 : 30	外来 新患予診	外来 新患予診	入退院カンファレンス ～医局会	外来 新患予診	外来 新患予診
12 : 00 13 : 00	昼休み 病棟	昼休み 病棟	昼休み 病棟	昼休み 病棟	昼休み 病棟
16 : 30		抄読会			